

Step 1 -教科書を読んでみよう-

A Unit2 の本文 (教科書 P.30~34) を通して読んでみよう。 (2回以上)

- ・【1回目】読み方や意味が分からなかった部分に、アンダーラインを引いておこう。
- ・【2回目以降】「この部分はこんな意味かな」と予測して読んでみよう。

B 教科書 P.30~34 の「語句」でわからない語句を、

辞書や Word List (教科書 P.132~141) で調べてみよう。

- ・電子辞書やインターネットの辞書の中には、語句の発音が確認できるものもあります。

(携帯電話に無料の英和辞書アプリもあるよ。)

- ・**A**で読んだときに予測した意味と、調べた意味とを比較してみよう。
- ・語句の意味が確認できたら、内容を意識しながらさらに本文を音読してみよう。(何度も読もう)

Step 2 -教科書の内容を確認しよう-

※本文を読みながら、以下の問い合わせに答えよう。(答えはノートに書こう。)

【P.30 Part 1】

C 咲が持っているペンは、誰のものですか? ()

D ペンを渡すとき、二人はどのようなことを話していると思いますか?

日本語で簡単に書いてみよう。()

【P.32 Part 2】

E 壁に掛けられた絵を見ながら、ベーカー先生は何を確認していますか? ()

F 窓の外を見ながら、ベーカー先生は何をたずねていますか? ()

G 「デパート」の英語の表現を、教科書から抜き出して書いてみよう。()

【P.34 Part 3】

H 咲はベーカー先生に誰を紹介していますか? ()

I その人はどの国の出身ですか? ()

J ベーカー先生が気に入ったものは? ()

Step 3 -英語で書いてみよう-

※次の問いに、本文を参考にしながら英語で答えてみよう。

- 【K】P.31『Write』にチャレンジしよう。自分の持ち物を紹介するつもりで、「これは～です。」という英語を書いてみよう。(※P.31『Tool Box』の英語も参考にしよう。)

- L P.33『Write』にチャレンジしよう。おうちの人動物の簡単なイラストを描いてもらい、それについてたずねる英語の文を「これは～ですか。」という意味になるように、実際に英語で質問してみよう。(※P.33の『Tool Box』も参考にしよう。)

- M** P.35『Write』にチャレンジしよう。友達やお気に入りの人物を一人選び、その人のことを紹介する英語をノートに書いてみよう。（目標は3文以上。P.34で、咲がアレックスの紹介をしている英語を参考にしよう。）※P.37『学び方コーナー③』を読み、辞書の使い方も確認しておこう。（辞書を持っている場合は、実際に使ってみよう。）

Step 4 -学んだことを振り返り,まとめよう-

【Unit 2 の新出表現】

P.31 This is my pen. (これは私のペンです。)
That is my pen. (あれは私のペンです。)

- ・ **This (That) is**～で、人やものを紹介したり確認したりする場合に使う。
 - ・ **this** は近くの人やものを、**that** は離れている場所の人やものを、それぞれ指す。
 - ・ **is** は「～」ですに当たる。

P.33 Is that an amusement park? (あれは遊園地ですか?)
- Yes, it is. (はい、そうです。) / No, it is not. (いいえ、ちがいます。)
It is a department store. (それはデパートです。)

- ・疑問文（質問する時の文）では、**is** を **this / that** の前に出して文を作る。
 - ・**Yes / No** で答えるときは、**this / that** を **it** に変える。**No** で答えるときは **not** を **is** の後につける。

P.35 This is Alex. (こちらはアレックスです。)
He is my friend. (彼は私の友達です。)
He is not my teacher. (彼は私の先生ではありません。)

- 一度話題に上がった人についてさらに説明する時、男性は **he** を、
女性は **she** をそれぞれ使う。
 - he, she** が主語（「～は」に当たる言葉）になるときは、**this / that** と同じように **is** を使う。

おまけのTRY

英語で書いてみよう！ 「あれデパートですか？—はい、そうです。」